



contents

P03 P01 P02

特集 北九州・脳卒中患者と家族の会  
片麻痺体験者の会 陽向 活動紹介  
共和会コラム ご存知ですか？ 脳卒中療養相談士

## 自助・互助 つながりの再構築

2023年も残すところあと数ヶ月となりました。新型コロナウイルス感染症が感染症法<sup>※1</sup>上の位置づけとして5類感染症となり、早くも約半年が経過しようとしています。医療機関としては感染症の流行する冬季を迎えることもあり、感染症予防対策を疎かにすることはできませんが、世の中の社会活動が少しずつ以前の状態に戻ってきているように思います。

さて、毎年10月29日は「世界脳卒中デー<sup>※2</sup>」です。脳卒中に関する知識を広め、一般市民の脳卒中に関する理解を高める日となっています。厚生労働省「患者調査」では、2020(令和2)年の脳血管疾患の患者数は174.2万人としています。医療技術が進歩し命が救われるようになりましたが、暮らしに戻るためのリハビリには、長い期間を必要とするケースが多いです。焦らず前向きにリハビリを続けるための秘訣はなんのでしょうか。良い医者や良いセラピーを受けることだけでなく、仲間と一緒に取り組むこと、楽しむこと、目標を持つことなどが大切ではないかと思えます。今回は、北九州にある脳卒中に関連したセルフヘルプグループを2つ紹介します。

※1 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律  
※2 2006年 南アフリカ共和国ケープタウンで開催された脳卒中国際会議で、国際脳卒中学会と世界脳卒中連盟が統合し、世界脳卒中機構が結成。これを記念し、毎年10月29日を「世界脳卒中デー」とした。

## Scoop ▶ 片麻痺体験者の会 陽向 活動紹介

### 片麻痺体験者の会 陽向(ひなた)とは

小倉リハビリテーション病院を退院した片麻痺当事者が中心となり、発足した患者会。「夢という陽に向かう」というスローガンのもと命名。会の目的は、退院後の生活を見てもらい、知ってもらい、前向きな「気づき」を生み出すこと。



陽向の会の様子 2016年 夏

現在はアプリ内での文章による意見交換、オンライン形式で開催となっている少人数で対面での開催あり



退院前の患者(右)の話聞く会員(左奥)と支援スタッフ(左前)

陽向の  
ここがすごい!

- ✓ 片麻痺体験者しか分からない不安や悩みを共有
- ✓ “片麻痺でもできる”屋外活動や調理などさまざまなイベントを実施
- ✓ 明日からの暮らしが楽しくなるようなちょっとした工夫やアイデアを共有

### 【開催日時・場所・参加費】

- ◇北九州脳卒中患者と家族の会：毎月第一金曜日15時～・オンラインにて(参加費無料)
- ◇片麻痺体験者の会 陽向(ひなた)：不定期開催・小倉リハビリテーション病院(参加費無料)

### ご存知ですか？ 脳卒中療養相談士

脳卒中療養相談士とは、日本脳卒中学会が主催する講習会を受講して「脳卒中相談支援講習会受講証」を保有する脳卒中患者の相談支援を行う医療従事者のことです。脳卒中患者を受け入れる一次脳卒中センターやコア施設(急性期病院)には「脳卒中相談窓口」が設置され、様々な困りごとの相談を受付けています。

当法人にも脳卒中療養相談士の資格を取得している医療ソーシャルワーカーが在籍しています。また、脳卒中患者のみならず、病气やケガでのさまざまな困りごと入院・入所、外来・通所さまざまな領域で医療ソーシャルワーカーが窓口となり相談支援を行っております。

陽向の活動など、患者家族会については当法人ホームページをご覧ください。



共和会  
コラム

## KR 医療法人 共和会

小倉リハビリテーション病院 / 介護老人保健施設 伸寿苑 / 共和会地域リハビリテーションセンター

〒803-0861福岡県北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1 TEL.093-581-0668(代表) FAX.093-581-3319(共通)

http://www.kyouwakai.net

かけはし

KYOUWAKAI Press 「かけはし」2023 秋号 / 特集 北九州・脳卒中患者と家族の会

発行 医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 / 連携ネットワーク推進部会 大島昂士

## 北九州・脳卒中患者と家族の会とは

脳卒中の患者さんやご家族の方が悩み事を相談したり、体験を語り合ったりする会。脳卒中の後遺症に悩んでいる患者さんの発案で2013年6月に発会。以降 毎月1回開催中。

どなたでも参加が可能で  
新型コロナウイルス感染症が流行する以前は九州労災病院の講堂にて20人以上が参加されていた。現在はオンライン形式で開催 2~3か月に数名の新規参加者が訪れる。



病気をされて何年経ちますか？

痺れや感覚障害ってどのくらいありますか？

夏の暑い日は外を歩く練習ができないからショッピングモールを歩くようにしています



硬い筋肉のままではトレーニングしても効果が得られにくいマシンを使ってほぐすと良いですよ

絶対良くなると信じてがんばりましょう

## 患者と家族の会

- ・後遺症に関する悩み
- ・リハビリテーションに関する悩み
- ・再発に対する不安
- ・高血圧など生活習慣病の治療に関する疑問
- ・食事に関する疑問

医師



消防士



ひととのつながり  
社会とのつながり



栄養士



看護師



北九州・脳卒中患者と家族の会についてのお問合せ

携帯用QRコード



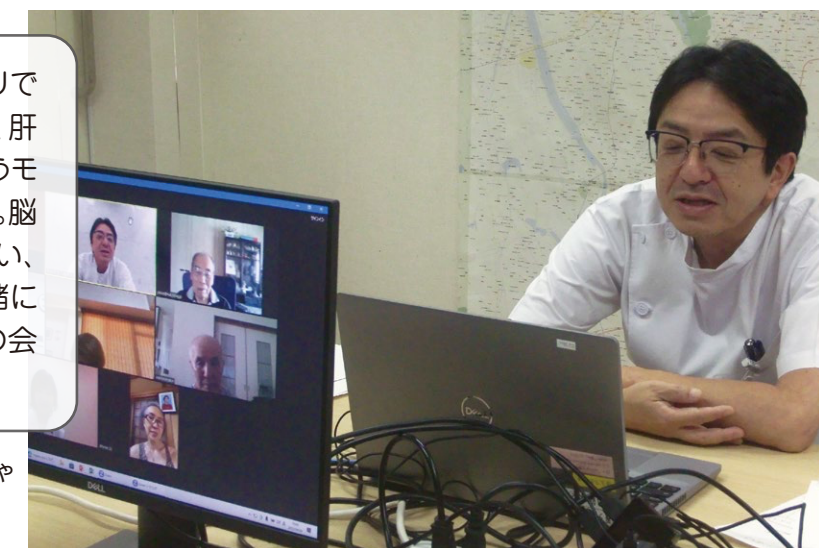
携帯のバーコードリーダーでQRコードを読み取ることで、携帯版ホームページへアクセスできます。

会には医師や看護師も同席し専門的な話が出たときの回答も可能。

時折、消防士や栄養士の方の参加も企画して、救急対応や食事療法に関する意見交換を行うこともある。

脳卒中を発症して、入院中のリハビリで“ある程度”は改善をされます。しかし、肝心な部分は“その先”なんですね。どうモチベーションを高めていくかなんです。脳卒中当事者一人では難しい場合が多い、みんなで一緒に考えて、みんなで一緒にがんばる。そういう語らいの場が、この会の意義なんですね。

脳卒中のリハビリテーションや家族会の意義を語る  
荒川 修治 医師(写真右上)



## 北九州・脳卒中患者と家族の会を見学し感じたこと

患者とその家族の会とは、同じ境遇の方々との対話を通して、心の不安、苦しさ、葛藤を軽減でき、喜び、楽しさを分かち合うことのできる尊い場所、話題によっては自分自身が発信する(支援する)役割になったりもすることで、社会とのつながりを実感する(再構築する)場でもあると感じました。重要な支援の選択肢として活用ができることを再認識いたしました。